

桐光会へのお礼メッセージ(2014年度第1期)

#1

この度は「卒業支援奨学金」をいただき、誠にありがとうございます。
かねてより病氣療養中の父の容態が急変し緊急入院したのは10月末でした。父の看病と学校の両立の中、どうしても学費のことが気になり、とても不安な日々を過ごしていました。「何としても大学を卒業したい」と思っておりましたので、桐光会からの知らせを頂いた時は本当に嬉しく、またほっとしました。父もその知らせを受け安堵したのか、次の日静かに旅立って逝きました。桐光会の皆様のご支援に恥じないよう、父の為にも残された学生生活を無駄にしないよう一生懸命頑張っています。本当にありがとうございました。

心理カウンセリング学科奨学生本人

※今回、保護者様からもご丁寧にお礼状を頂戴しております。

#2

この度は、桐光会奨学生として採用して頂き誠に有難うございます。私は父を亡くしてから今後の生活や将来に対する不安などを抱えている中で、母までも病で倒れてしまい緊急入院する事になりました。そんな経済的にも精神的にも厳しい状況の中で、この様な援助をして頂きました事を心より御礼申し上げます。桐光会の皆様を始め、キャリアセンターの皆様、先生方に感謝すると共に、残りの学生生活を有意義なものにしたいと思っております。

中国語学科奨学生本人

#3

拝啓

向寒の候に存じます。この度は桐光会奨学金に採用して頂き、誠にありがとうございます。
お蔭様で不安なく卒業研究に励むことができます。こうして学びたい事を思う存分学び、充実した大学生活を送れるのも貴会のご支援のお陰と存じます。家族一同、感謝の気持ちでいっぱいです。今後は卒業に向けて精一杯学び、残された最後の学生生活を有意義に過ごして行きたいと思っております。私を支えて下さった皆様へのご恩と感謝の気持ちを忘れず、目白大学卒業生としての誇りを持ち恥じぬよう社会貢献して行きたいと存じます。この度のご支援、関わって下さった方々に心より御礼申し上げます。

韓国語学科奨学生本人

#4

この度は娘を桐光会奨学生として採用して頂きました事、心より感謝申し上げます。母子家庭の上、この度母親の私が突然の交通事故に遭い、いまだ回復の目途が立たず、仕事にも就けない状況の中、皆様のお力添えのお陰で娘も学生生活を継続できる運びとなりました。私も体の方は少しずつ回復はして行くと思っております。娘も、勉強、バイト、家庭の事と大変ではありますが、今後より一層勉学に励み学生生活を充実させ、今回のご支援を意味のあるものとし頑張ってもらいたいと思っております。お世話になりました。各関係者の皆様、先生方、本当にありがとうございました。

地域社会学科保護者様より

#5

この度は桐光会奨学生を認めて頂き、ありがとうございます。

去年の11月に両親が離婚し、母親の収入だけでは生活していくのが精一杯でした。これから大学の学費もあるし、どうしてよいのか分からず動揺しておりました。しかし、採用して頂いたことにより私と母は一安心することができ、心より感謝しています。また、勉学に打ち込める環境をあたえてくださりありがとうございます。

ご協力とお力を頂いた以上、大学での4年間必死に勉学に励み、将来社会に貢献し頑張っていきたいと思います。この度は、本当にありがとうございました。

作業療法学科奨学生本人

#6

この度は、桐光会卒業支援奨学生に採用して頂き誠にありがとうございます。

就職活動に国家試験の勉強の為に、アルバイトを控えておりましたが、桐光会奨学生に採用させて頂き本当に感謝しております。私の家庭は母の収入だけで、生活費や学納金の支払いに経済的に厳しいものがありました。しかし、採用の連絡を頂き無事に学納金を収めることができました。おかげさまでこれからの就職活動、国家試験の勉強に、より一層力を入れることができます。本当にありがとうございました。

作業療法学科奨学生本人